教育センターニュース

# ミネルバー



126등

**佐賀県教育センター** http://www.saga-ed.jp 〒840-0214 佐賀県佐賀市大和町大字川上 TEL 0952-62-5211(代) FAX 0952-62-6404

.........

### 掲載記事

- 〇 講座授業
- 出前講座
- ICT利活用研究
- 教育論文・ICT利活用実践研究 入賞者発表
- 教育実践交流会のご案内

## 講座授業の紹介

今年度は、小・中・高校の 16講座で授業を行いました。その中から2つの講座を紹介します。来年度は、18講座で授業を行います。是非、ご参加ください。



### 中学校国語

東京書籍1年の「図表を使って伝えよう~『私』の説明文~」という教材で、学習計画表の利用、ワークシートの工夫、モデル学習の提示を3本柱に「書くこと」の授業を行いました。また、文章と図表の効果的な組み合わせを考えさせるために、電子黒板と教材提示装置を使いました。学習計画表の利用は学習に見通しがもて、モデルを提示し、ワークシートを使って「書くこと」の手順に従って学習に取り組ませたことで、全員が文章を書くことができました。授業の最後には、レーダーチャートや円グラフなどの図表と 400 字程度の説明文を組み合わせた、読みやすくて印象的な「『私』の説明文」が仕上がりました。受講者からは、「日々の授業に生かせる内容ばかりで参考になった」「準備の大切さを痛感した」という感想でありました。中学校国語のプロジェクト研究では、「書くこと」「読むこと」領域において自分の考えを形成する力を養う指導と評価の在り方について見直し、再検討しています。その一貫として、この講座授業も行いました。更には、学習指導要領の趣旨を反映した学習評価の考え方に基づいた授業展開案が佐賀県教育センターのHPでもアップされています。そちらもご覧ください。

### 高校数学

ICTを活用して、数学Iの課題学習「黄金比」の授業を行った。PowerPoint で作成したスライドを用いることを基本とし、フィボナッチ数列と黄金比の関係については Excel で作成した表と GRAPES で作成した図を用いて解説をしました。また、パルテノン神殿とモナリザの画像をタブレット型端末に送信し、生徒一人一人が自分の端末上でそれらの中に隠されている黄金比を見つけ出す授業を展開しました。黄金比というものが身近に感じられるような授業ができ、興味・関心を高めるために、電子黒板やタブレット型端末の活用は非常に有効だと改めて感じました。受講者は、「演習で GRAPES を学び、授業で使うレベルの教材が作れてよかった」



「ICTへの考え方がよい方向に変わった」という感想があり、ICT機器を利用した教材づくりについての協議にも積極的に参加されていました。佐賀県教育センターのICT利活用研究の高校数学「数学I」「数学A」で、授業のヒントになるような授業展開案及び活用する教材の作成に取り組んでいます。その一端として、今回の講座授業を行いました。これ以外にも、授業展開案を3月には佐賀県教育センターHPにアップします。ご期待ください。

### 出前講座へ参りました

小学校国語·算数·教育相談·特別支援教育で鳥栖·武雄・鹿島・唐津へ出向き、半日講座を行いました。その中の2つを紹介します。お近くで受講できるチャンスです。来年度は是非、ご参加ください。

#### 心に聴くカウンセリング講座

子どもや保護者の思いを共感的に理解するための, カウンセリングの基礎的な考え方や技法(うなずき・相づち, 繰り返し, 支持, 質問等)を生かしたかかわり方を伝え, 話をじっくり聴く演習を行った。 受講者にクライエント役, カウンセラー役, 観察者役をそれぞれをしてもらい, カウンセリングマインドを生かしたかかわり方をしてもらった。 受講者からは「生徒や保護者との対応で話を聞くことが多いので, 是非学校で役立てたい」「学校の近くで出前講座があり参加しやすかった」など好評であった。

#### WISC一Ⅲから見える子どもの特性の理解と支援

「日本版WISCーⅢ知能検査法」の検査結果を初めて手にした方でも、検査結果を基に、子どもの特性を理解し、学習や生活においてよりよく活動できるような支援の在り方について話をした。検査内容について、検査結果からグループで児童生徒の特性の理解についてと支援のアイディアを自由に出し合ってもらった。受講者からは、「具体的な事例を通しての講義で、本だけでは分からなかったことがとてもよく理解できた」「理解のポイントを教えてもらったので、学校で検査結果を見てみたい」などの感想があった。

### 理科の授業づくりをサポート!理科授業改善サポートチーム

キーワードは、言語活動を通した思考力・表現力の向上、小中連携!

理科授業改善サポートチームでは、全国や佐賀県の学習状況調査から見られる児童生徒の課題を克服するために、また県内各市町で進められている小中連携の参考となるような学習モデルを佐賀県教育センターから提案する取組を行っています。県内5地区(旧教育事務所地区)から選出されたサポート研究委員による授業を公開し、参加された先生方と意見交換をしたり、情報提供を行ったりしています。小中理科のスーパーティーチャーにも協力していただき、2学期に行った授業研究会(小学校6回、中学校5回)で約200名の先生方に参加いただきました。



スーハ<sup>\*</sup> ーティーチャー 松崎先生(山内東小)による公開授業 小4『もののあたたまり方』



スーパーティーチャー林先生(鬼塚中)による 公開授業 中2『電流とその利用』



授業後の意見交換会の様子

1月21日以降に下記の日程で、小学校6回、中学校2回の授業研究会を実施します。県内の先生方、理科の授業づくりについて大いに語り合いましょう!参加をお待ちしております。詳しくは下記へお問い合わせください。

地 区	会場校	授業者	実施学年	期日
佐 城	日 新 小学校	横尾 英樹 教諭	4 年	2月1日(金)
	神 野 小学校	妹尾 香津裕 教諭	4 年	2月4日(月)
三神	旭 小学校	青山 幹郎 教諭	3 年	1月31日(木)
	基 山 中学校	奥園 洋光 教諭	1 年	1月25日(金)
東松浦	鬼 塚中学校	林 桂子 教諭	2 年	1月22日(火)
米仏州	長 松 小学校	坂元 康一郎 教諭	5 年	1月24日(木)
杵 西	山内東小学校	松﨑 達也 教諭	4 年	2月15日(金)
	東 陵 中学校	野田 浩輔 教諭	2 年	2月5日(火)
藤津	能古見小学校	佐々木 忠俊 教諭	3 年	2月7日(木)



<mark>問い合わせ先</mark> 研修課 長期研修担当 TEL:0952-62-5213(直通) メール chouken@saga-ed.jp

### ICT利活用実践研究に取り組んでいます

平成23年度から継続的にICT利活用に関する研究に取り組んでいます。

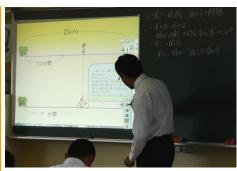
現在、ICT利活用推進の施策について、活発に議論・検討されています。そのような中、教育センターでの研修講座へ参加される先生方からは、ICTの利用方法や授業での効果的活用事例等を求める声が日に日に高まってきています。

そこで、今年度の研究では、以下に紹介するとおり、取り組みの教科・領域を広げ、多くの先生方への支援となるよう努めています。 ※研究の詳細及び経過は、教育センターWebで公開しています。 また、3月には今年度の成果として、取り組んだ授業の実践事例やコンテンツを公開しますので、どうぞご利用ください。



#### 〇 I C T 利活用 "授業実践研究"

前回号で紹介した小学校算数科、中学校技術科、高校英語科に加え、今年度は「小学校外国語活動」「中学校数学科」で授業実践研究を行っています。研究に際しては、多久市立東部小学校、多久市立東部中学校、白石町立六角小学校、神埼市立千代田中学校にご協力いただき、授業展開の中での各場面に対し、電子黒板や教材提示装置等のICT機器をどこで提示すれば効果的であるかを探っています。



千代田中学校での授業実践

#### ○ I C T 利活用 "授業展開案の作成"

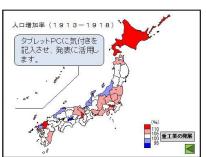
今後、高等学校では急速に I C T機器(電子黒板、タブレット P C等)が整備されることから、教育センターでは、授業での活用のヒントとなるような授業展開案及び活用する教材の作成に取り組んでいます。今年度は、1 年生で履修することが多い科目(「国語総合」「日本史 A」「数学 I 」「数学 I 」「数学 I 」「の授業に相当する展開案等を作成しています。

#### ~~「日本史A」におけるICT教材の一部を紹介します~~

近代以降の経済に関する授業において活用できる教材です。「大戦景気」の授業において電子黒板を活用するための PowerPoint 教材として図1・図2のようなグラフを作成しました。これらのグラフは、「授業展開に即して資料を提示できる」という PowerPoint の特長を生かし、政治・外交との関連やグラフの読み取りを通じて生徒の考察を深める場面を設定できるようなアニメーションを付加しています。また、図3のように、タブレットPCを活用して工業化と人口移動の関係を考察させる地図等も作成しています。







### 教育論文·ICT利活用実践研究入賞者発表!

佐賀県教育センターが募集した平成 24 年度の教育論文・I C T利活用実践研究は 25 の応募がありました。審査の結果、次のように入賞校・入賞者を決定しました。入賞した論文は、教育実践交流会時に発表を行い、3 月に教育センターのホームページに掲載します。入賞された皆さん、おめでとうございます。

#### 教育論文部門

校内

研究

優秀賞 鹿島市立明倫小学校 校長 黒木 正孝 代表 棚町 剛

研究主題 グローバル社会をたくましく生き抜く児童の育成

「学び取り」、「自力解決」、「学び合い」を通した確かな学力の定着を目指して(国語科・算数科)-

教諭 松永 陽一郎

奨励賞 多久市立中部小学校 校長 今泉 弘 代表 松尾 久一 奨励賞 唐津市立呼子中学校 校長 井手 和憲 代表 田久保 貴喜

個人

優秀賞 伊万里市立波多津東小学校 教諭 中山 洋徳

研究主題 「複式学級における、児童の主体的な学習への支援の在り方」

-電子黒板の活用と学習リーダーの育成を通して-

**研究** 優良賞 唐津市立大志小学校

優良賞 佐賀市立春日北小学校 教諭 野口 太輔

奨励賞 多久市立北部小学校 教諭 山田 渉

奨励賞 県立伊万里特別支援学校 保健主事 近藤 正裕

#### ICT利活用実践研究

優秀賞 唐津市立加唐中学校 教諭 藤田 郁夫

研究主題「思考力・判断力・表現力を育む中学校理科学習指導の在り方」

- I C T を活用した言語活動を通して-

優良賞 唐津市立湊小学校 教諭 吉田 恭輔

奨励賞 小城市立三日月中学校 教諭 西村 志歩

奨励賞 玄海町立有徳小学校 教諭 西岡 速人

### 第14回教育実践交流会のご案内

「高める力量 広げる実践 ともに創る教育新時代」をテーマに、今年度も下記の日程で開催します。各種分科会やワークショップを準備し、皆さんをお待ちしています。教育論文等入賞者の表彰及び発表もあります。1コマだけ、午前中だけなど、一部の参加も可能です。今年度は、9:40~11:00 に佐藤伝氏の講演も予定しています。演題は「教師のプロ意識が子どもの可能性を拓く」です。申込み方法等、詳細は、1月上旬「羅針盤さが」に配信する案内及び教育センターホームページをご覧ください。

申し込み締め切り日は、1月31日(木)です。

開催日時:平成25年2月22日(金) 9:00~16:20



昨年度の様子